

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年（コース）	1 学年（全）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する。 ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。 ① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- （1） 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。
- （2） 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- （3） 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3 指導の重点

「現代社会と健康」では、健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について、「安全な社会生活」では、安全な社会づくり、応急手当について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・レポート等の提出物の内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・レポート等の提出物の内容の確認 ・授業での発表 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組の観察 ・提出物の取組状況 などから、評価します。
	内容のまとめりとともに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）		時間	評価方法
4	現代社会と健康	副教科 教材書『現代 高等教育保健 体育ノート』	1. 健康の考え方と成り立ち	わが国の現在の健康水準や健康問題の変化、および今日の健康課題について学ぶ。健康の成立要因をふまえて、自分なりの健康の捉え方について考える。	9	レポート、ノート、提出物などの内容の確認、授業への取組状況
			2. 私たちの健康のすがた			
			3. 生活習慣病の予防と回復	生活習慣病の種類とその要因について学ぶとともに、予防、早期発見、個人や社会の対策について考える。		
5			4. がんの原因と予防	わが国の死因の第1位となっているがんについて、その種類、原因、予防、治療について学ぶとともに、社会的対策の現状と必要性について考える。		
			5. がんの治療と回復			
6			6. 運動と健康	運動、食事、休養・睡眠といった生活習慣が、生活習慣病の予防をはじめ、健康の保持増進に大きく関連していることを学ぶとともに、人々が適切なライフスタイルを身につけるための対策を考える。		
			7. 食事と健康			
			8. 休養・睡眠と健康			
7			（1学期末考査）		1	定期考査の分析
			9. 喫煙と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用が心身にもたらす健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題を改善するための、個人や社会の対策について考える。	12	レポート、ノート、提出物などの内容の確認、授業への取組状況
			10. 飲酒と健康			
			11. 薬物乱用と健康			
8			12. 精神疾患の特徴	おもな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について考える。		
9			13. 精神疾患の予防			
10			14. 精神疾患からの回復			
			15. 現代の感染症	新興感染症や再興感染症といった現代の感染症の現状と今日的課題、予防対策について学ぶ。また性感染症・エイズの実態と課題について、日本および世界の現状を学ぶ。また感染症予防について、個人や社会の対策について考える。		
			16. 感染症の予防			
11			17. 性感染症・エイズとその予防			
			18. 健康に関する意思決定・行動選択	健康の保持増進のための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学ぶ。また健康づくりには、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりが重要であることを学ぶ。	1	定期考査の分析
12			（2学期末考査）			
			19. 健康に関する環境づくり			
	安全な社会生活		1. 事故の現状と発生要因	わが国の不慮の事故の実態と事故発生に関連する要因について学ぶとともに、安全な社会を形成するための個人や社会の対策について考える。また、交通事故の防止の観点から、運転者の責任、個人や社会の対策等について考える。	6	レポート、ノート、提出物などの内容の確認、授業への取組状況
			2. 安全な社会の形成			
			3. 交通における安全			
			4. 応急手当の意義とその基本	けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようにする。また、心肺停止状態の人の命を救うために行う心肺蘇生法の意義と方法を学び、実習を通して正しく実施できるようにする。		
			5. 日常的な応急手当		1	定期考査の分析
			（学年末考査）			
3			6. 心肺蘇生法		2	提出物の内容の確認、授業への取組状況

計32時間（55分授業）

7 課題・提出物等

- ・保健体育ノート、プリント等を記入して提出
- ・長期休業中の課題は別途指示